



## 日下部 裕美子 (くさかべ ゆみこ) 略歴

ゴールドマン・サックス証券東京支店投資銀行部門を経て、米国ワシントンDC の国際機関、米州開発銀行に15年間勤務。同行で投資案件のインベストメント・オフィサーを勤め、中南米・カリブ海諸国のプロジェクト・ファイナンス案件を中心にトレードファイナンス、中小企業向け投資ファンド、再生エネルギー・ファンド、証券化などの案件をプロジェクト・リーダー歴任。自身がリード組成した案件で、IDB 総裁から Outstanding Team Award 受賞、革新的な中小企業ファンドスキーム実践で Ortiz Mena 総裁賞、Trade Finance Deal of the Year 受賞。気候変動、貧困削減、民間セクター開発、中小国支援、環境社会的効果審査、開発効果の高いインパクト投資の組成経験。

2015 年にCOOとしてインド向けインフラ・デット・プラットフォームの事業立ち上げ、インドの大手銀行との提携交渉（日印インフラ・パートナーシップ・ファンド）。2016 年、日本生産性本部内の国際 IT 財団 (IFIT) イノベーション・リーダーズ・プログラム (ILP) プログラム・ディレクターとして日本企業の若手幹部候補生グループの先端技術の海外視察調査を『IT x ゲノム情報』、『ビッグデータ AI x アグリ』の分野で実施、異業種のオープンイノベーション促進に貢献。現在は、企業のオープンイノベーションの企画運営・新規事業・海外戦略を支援する株式会社IMPACT ACCESS（日本）、YK Global Impact（米国）の運営、複数の顧問・事業アドバイザー、新規事業を兼任。

東京大学・産学協創推進本部 Beyond AI研究推進機構の企画戦略タスクフォースディレクターとして、東大とソフトバンクのBeyond AI連携事業：10年間200億円規模のAI研究所設立の企画戦略を担当。AI分野の世界的権威の研究者から構成されるグローバルアドバイザーボード設立、企画運営。藤井総長の依頼により、Beyond AI発足記念国際シンポジウム『Living with AI, Going beyond AI』を企画主導・開催。東京大学の五神総長、藤井理事（現総長）、ソフトバンク孫会長、宮川社長、台湾タン大臣、Beyond AI研究10チームの登壇・対談・研究発表を企画、交渉を担当。約3000人の参加、開催実施に成功。東京大学未来ビジョンセンター客員研究員（2020～2021）。

東京大学文科II類入学・留学、英国ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE) 経済学士。

東京大学経済学部 経済学修士。INSEAD Global Executive MBA2014 年卒。

Scott Johnson Fellow（日米リーダーシップ・プログラム）フェロー、日中リーダーシップ・プログラムメンバー、日印リーダーシップ・プログラム創始Executiveメンバー。

現在の主な活動・テーマ：

「クリエイティビティを活用したイノベーション創発に関する研究調査、イノベーション促進事業開発。オープンイノベーション企画、新規ビジネスのCuration & Design、ベンチャー・新規事業戦略支援」

<現在の役職（2022年3月）>

- ・イノベーション研究：創造性を活かしたイノベーション創発の仕組みの論文研究（指導教官：東京大学新領域創成科学研究科 割澤伸一教授）、人間の五感を計測する技術の事業化検討・企画立案  
（Creativity Research Lab研究調査事業）（2021～）
- ・経済産業省 産業構造審議会イノベーション小委員会 研究開発改革ワーキンググループ委員（2021～）
- ・株式会社Impact Access（日本）Founder & CEO（2019～）、YK Global Impact LLC（米国）CEO（2014～）
- ・広島大学発ゲノム・Bio DXベンチャー、プラチナバイオ社 Chief Strategy Officer（2022年3月～）
- ・Sustainacraft 海外戦略ディレクター：気候変動対策、衛星リモートセンシングベンチャー（2022年3月～）
- ・京都大学発ベンチャー、Cyn-Kと京都大学の共同研究講座の認知症治療ワクチン開発の新会社COO（就任予定）
- ・広島大学オープンイノベーション事業本部Global Creative Advisor（2019～現在）
- ・東海東京フィナンシャル・ホールディングス顧問、『中部オープンイノベーションカレッジ』ディレクターとして経営者向け企画運営、次世代ファミリービジネス経営者のコミュニティー企画推進（2016～）